

# 薬原性錐体外路症状評価尺度(DIEPSS)の評価項目と重症度

	0	1	2	3	4
1 歩行	正常	上肢の振りがわずかに少なく、速度や歩幅もわずかに減少した印象の歩行	歩行速度や歩幅の減少、及び上肢の振りの軽度低下。軽度の前屈姿勢が観察される場合も	上肢の振りがかなり減少した明らかに遅い歩行。典型的な前屈姿勢と小刻みな歩行。時に前方突進現象	一人で歩行開始ほぼ不可能。歩行開始しても非常に小刻みな歩行で引きずる様に歩き、上肢の振り全く無し。重度の前方突進現象があることもある
2 動作緩慢	正常	動作が緩慢であるという印象	軽度の動作緩慢。動作の開始か終了のわずかな遅延。会話のテンポがやや緩徐で、顔面の表情がいくぶん乏しい	中等度の動作緩慢。動作の開始か終了の明らかな困難。会話のテンポが中等度に遅く、顔面の表情変化が中等度に乏しい	重度の動作緩慢か不動。殆ど動かない、または移動の際に多大な努力を要する。顔面表情筋の動きは殆ど無く、会話のテンポが著しく遅い
3 流涎	正常	評価面接の際にみられるごく軽度の唾液分泌過多の印象	評価面接の際にみられる口内にたまる軽度の唾液分泌過多。ほとんど会話の障害にならない	評価面接の際にみられる中等度の唾液分泌過多。このためしばしば会話に困難を伴う	絶えず認められる重度の流涎、または垂れ流しの状態
4 筋強剛	なし	上肢の屈伸でごく軽度の抵抗を感じるという印象	上肢の屈伸における軽度の抵抗。ときに軽度の歯車現象。	上肢の屈伸における中等度の抵抗。明らかな歯車現象がみられることがある	上肢の屈伸に非常に強い力を要し、中断するとそのままの肢位を保つ(ろう屈現象)。重度の筋強剛のためにしばしば上肢の屈伸が困難
5 振戦	なし	非特異的で軽微な振戦 or 一部に局限した軽度の断続的な振戦	一部位に局限した軽度の持続的な振戦 or 複数部位に軽度の断続的な振戦 or 一部位に局限した中等度の断続的な振戦	一部位に局限した中等度の持続的な振戦 or 複数部位に中等度の持続的な振戦 or 一部位に局限した重度の断続的な振戦	重度の全般性振戦、または全身の粗大振戦
6 アカシジア	なし	非特異的で軽微な内的不穏感	内的不穏に対する軽度の自覚はあるが、それは必ずしも苦痛の原因になってない。アカシジアに特徴的な運動亢進症状が観察されることがある	中等度の内的不穏。このため不快な症状や苦痛がある。主観的な内的不穏に基づく身体の揺り動かし、下肢の振り回し、足踏み等の下肢の特徴的な運動不穏	重度の内的不穏があり、じっとしてられず、絶えず下肢を動かす。睡眠障害や不安感を伴うことがある明らかに苦痛な状態。それらの症状の鎮静を強く望む
7 ジストニア	なし	軽微な筋肉のこわばり、捻転、異常ポジションがあるという印象	軽度のジストニア。舌・頸部・四肢・躯幹にみられる軽度の捻転やつっぱり、痙縮、または軽度の眼球上転。必ずしも苦痛ではない	中等度のジストニア。中等度の捻転やつっぱり・痙縮・眼球上転。しばしばその症状に対する苦痛を訴える。迅速な治療が望まれる	四肢や躯幹に認められる重度のジストニア。このため食事や歩行等の日常生活の活動に著しい支障を来す。可及的速やかな治療の適応
8 ジスキネジア	なし	非特異的で軽微な異常不随意運動。局限した軽度の断続的な異常不随意運動	局限した軽度の持続的な異常不随意運動 or 複数部位の軽度の異常不随意運動 or 局限した中等度以上の断続的な異常不随意運動	局限した中等度の持続的な異常不随意運動 or 複数部位の中等度の異常不随意運動 or 局限した重度の断続的な不随意運動	重度の異常不随意運動が観察される。このため日常生活に支障を来す
9 概括重症度	なし	ごく軽度。または疑わしい	軽度。日常生活に殆ど影響無し。必ずしも苦痛を感じない	中等度。日常的にある程度の影響を及ぼす。しばしば苦痛を感じる	重度。日常生活に重大な影響を及ぼす。強く苦痛を感じる